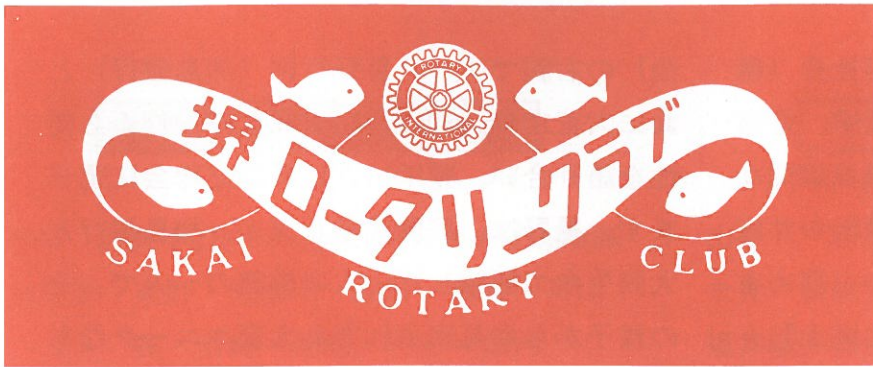


第2640地区



創 立	昭 和 2 6 年 (1 9 5 1) 2 月 1 6 日
例 会 日	毎 週 木 曜 日 1 2 : 3 0
例 会 場	ホ テ ル ・ ア ゴ ー ラ リ ー ジ ェ ン シ ー 大 阪 堺 3 F T E L (0 7 2) 2 2 4 - 1 1 2 1
事 務 所	〒 5 9 0 - 0 9 8 5 堺 市 堺 区 戎 島 町 4 - 4 5 - 1 ホ テ ル ・ ア ゴ ー ラ リ ー ジ ェ ン シ ー 大 阪 堺 8 F T E L (0 7 2) 2 3 8 - 3 2 5 0 F A X (0 7 2) 2 3 2 - 3 7 1 1
会 長	東 野 裕 暢
幹 事	奥 中 泰 征
会 報 担 当	提 提 竹 島 尚 弘



ロータリーは 機会の扉を開く

2020—21年度国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

四
つ
の
テ
ス
ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<http://www.sakai-rc.jp/>

特別号（5）

創立の経過に纏わる戦前事情と星野行則 —創立記念月にあたり

東野裕暢会長

記念すべき70周年がこのコロナ禍により、各行事断念のやむなきに至りました。決断を下した昨夏段階、ここまで逼迫するとの見通しは少なかった訳ですが、諸データ・資料を読み込み、早い段階で中止を決定、準備や関係先への影響を最小限に止め得たのは不幸中の幸いでした。本年の国際大会もリアルは中止との通知が先週RIより参り、我々の決断が間違っていなかった事に胸をなでおろしています。

2月16日堺RCが70周年を迎えるにあたり、2つお届けします。一つは創立の“経過”に関連し、もう一つは創立の“人”に関連したお話です。

クラブHPに“クラブの歴史”があるものの、そこでは省略された戦前の設立前事情があります。短く言えば堺は一度断っています。

日本のロータリーは大正9年、米山梅吉を会長とする東京RCの設立に始まり、大正11年

<http://rid2640g.com/fujii/>

大阪RC、同13年神戸及び名古屋RC、同14年京都RCの設立等着実な発展を続け、大正15年には当時の植民地を含む全国に48RC、2千名余の会員を有するまでに発展。此の間、大阪市に次ぐ府下の大都市堺にRCを設立しようと言う動きもあったものの、第二次大戦による時局の重圧下、日本のロータリーは国際ロータリーから脱退の余儀なきに至り、この動きは実を結ばずに終わります。

当時の堺市長河盛安之介氏の堺RC10周年記念誌上の記述に依れば、此の間の事情を「堺にロータリークラブを設置してはと勧誘されたのは戦前のことで、当時大阪RCの会長であった故村田省蔵氏が、たびたび来堺されて、市長室で私に熱心に口説かれたのであった。当時堺には木曜会というロータリークラブに似通った会があったので、会員鉛市太郎工博や加藤保一氏等に諮ったが、当分は見送ろうということになって一時沙汰済みとなった。その後大東亜戦争が勃発してロータリークラブは自然解消の運命に遭い漸く台頭せんとしたロータリー運動も雲散霧消の厄にぶつかった。」（「堺ロータリークラブ史」より）

ここに言う“村田”は、大阪商船社長（現商船三井）を経て、第二次世界大戦中、逓信大臣兼鉄道大臣、フィリピン占領軍最高顧問などを務めた人物で、東京の米山、横浜の井坂に続き三代目のガバナーを大阪RCから務めました。もう一人、見送った側の“鉛博士”とは、堺で創業600年を超える化学会社“鉛市”（現在も神明町にて健在で畑中元会員の会社）に繋がる化学工業会の大物にして阪大教授でもあった人物です。そして戦前、機熟せず設立に到らなかった堺RCも、昭和25年末より大阪RCの熱心な後援と指導を得て、設立準備を進め、昭和26年2月16日RIの承認を受け、大阪府下第二番目結成のクラブとして発足します。

この設立に大きく関わった人物の一人に大阪RCの“星野行則”がいます。さほど取り上げられる事は多くはありませんが、我がクラブにとり大変重要な人物であるのみならず、日本のRCにとっても重要人物です。この方の話が2つ目の話題です。

その前に“米山”と“福島”のおさらい。1918年（大正7年）三井銀行の米山梅吉が財政調査団に加わり、米国テキサス州にてダラスRC会員であった福島喜三次（三井物産）からロータリーのことを聞きます。大いに心を動かされて米山は帰国し、1920年におくれて帰国した福島と共に、東京でRC設立を準備、24名のメンバーで新クラブを創設します。スポンサークラブのないRI直属のクラブでした。日本には、もう一つRI直属のクラブがあり、それが大阪RC。この大阪RC設立にも先の福島喜三次が深くかかわります。福島喜三次が帰国後東京から大阪に赴任し、明治の女傑広岡浅子（数年前の朝ドラ「あさがきた」の主人

公）の右腕であった星野行則（加島銀行）と共に大正10年（1921年）大阪にRCを作る必要性を語り合い、翌年11月17日創立総会に至ります。星野は、広岡浅子を支え、加島銀行と大同生命で活躍した三人の幹部の一人で、その浅子からの見出され方も大変ユニークなものでした。星野は又、F・W・テーラーの科学的管理法を日本に紹介、タイプライターの導入や、現在の日本能率協会、さらに「カンバン方式」などは、星野がもたらした理論が基になっているそうです（以上、大同生命HP“浅子を支えた三人の幹部”参照）。

驚くべきは、その星野、1870年生まれですから堺RC誕生の折には既に80歳を超えていました。この星野らのお陰で我クラブが今あります。

どうでしょう、このような歴史にも登場する数々の先人達により、喜多源逸浪速大学（現大阪府立大）学長を初代会長として我がクラブは創られました。今年度曲がりなりにも会長職を仰せつかり、且つ未曾有の困難下にオペレーションを担う今、改めて身の引き締まる思いです。先人各位に深謝の他ありません。

（各お名前は歴史上の人物として敬称略）



臨時理事役員会議事録

日時 2021年2月27日(水) オンライン(ZOOM)
出席者 東野・高橋明・佐野・福井・神山
林・石崎・畑崎・神吉・田内
高橋聖・奥中・松尾・木澤
(敬称略)

I. 議案

1. 例会継続の件

2月4日(木)については緊急事態宣言下であるので中止とする。

2月18日(木)については、緊急事態宣言下であれば中止とする方向。

2. 堺市医師会への医療用手袋寄贈の件

堺市医師会への医療用手袋寄贈の費用に関しては、休会により浮いた食事代をいったんニコニコ箱に入れ、ニコニコ箱からの出費とする。現会員による奉仕ということを明確化するため。

休会が長く続くようであれば、例会費の扱いや次の奉仕に関する意見を広く募る。

承認

臨時理事役員会議事録

日時 2021年2月29日(金) メール
出席者 東野・高橋明・佐野・福井・神山
林・石崎・畑崎・神吉・田内
高橋聖・奥中・松尾・木澤
(敬称略)

I. 議案

1. 地区ローターアクト委員会委員推薦の件
2021-22年度地区ローターアクト委員会委員に永井裕敏会員を推薦する。承認

今月のお誕生日

山中 諄会員(1日)八木 潤子会員(3日)
永井 裕敏会員(7日)富田 茂利会員(9日)
福井隆一郎会員(9日)信田 圭造会員(10日)
睦谷 泰秀会員(16日)

信田富士子さん(9日)田内 周子さん(10日)
高橋早智子さん(13日)

今月の記念日

黒川 眞男会員、明子さん(3日)
河端 裕志会員、智恵子さん(12日)
高橋 聖会員、早智子さん(28日)
小池 隆之会員、順子さん(28日)
大澤 徳平会員、(1日)
八木 潤子会員、(4日)
松本 孝会員、(6日)

2月のロータリーレート

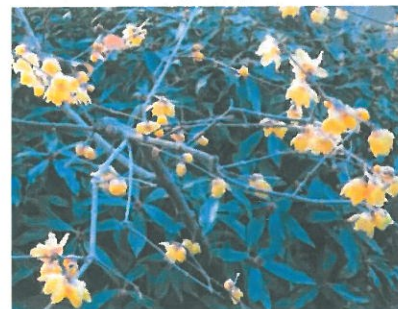
1ドル=104円

ご協力よろしくお願ひ致します。

R財団委員会より

フォト同好会

— 蠟梅 —



熊野道夫会員

「2021年国際大会リアル中止で バーチャル開催のお知らせ」

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク氏より、今年の国際大会をバーチャル行事として開催すると国際ロータリー理事会で決定されたとのお知らせが、1月29日届きました。台湾の方々にとって、非常に残念な決定であり、コロナウイルス対策で成果を挙げており、現地のロータリアンは地元での国際大会開催に期待を膨らませておられました。

世界保健機関ならびに台湾の公共保健機関によるガイダンスの下、これほどの規模のイベントを安全に開催するのは不可能であることが明らかとなりました。伝統的な形式での国際大会ができないのは残念ですが、世界の全ロータリアンが参加できるバーチャル国際大会が企画されていることは、嬉しく思います。昨年のバーチャル国際大会（ハワイ）は、1週間にわたるプログラムを含め、非常に多くの方にご視聴いただいたそうです。今大会も最高のバーチャル行事とするために、これまでに私たちが学んできたすべてのことを生かして、楽しみ、学び、わくわくするような新たな機会とすることができるでしょう。

2021年バーチャル国際大会に関する詳細は、近日中にお知らせします。

世界中のロータリアンと交流していただき、この経験を通じて、ロータリーはより強く、迅速に対応できる組織となることができるでしょう。取り急ぎRI会長メッセージをお知らせ致します。

国際奉仕委員会より

“ロータリーの友” 2月号必読頁

雑誌担当 山本啓之

2月は平和構築と紛争予防月間です。

※横の頁

○ORI会長メッセージ P 3

ホルガー・クナークRI会長

2月23日はロータリー創立記念日です。

○過去を知り、未来へつなぐ P 8

元第2740地区ガバナー 福井 順

戦後75年以上、戦争を経験していない日本人にとって、一被爆学生の証言～“死の谷間”原爆症からの生還～は、命の尊さと生きる力を感じさせてくれます。

○最前線で活躍する平和フェロー P14

UNDP駐日代表事務所民間連携・ユース担当

コンサルタント 大阿久裕子

国連開発計画（UNDP）で、若者とこれからの未来を共創していくプロジェクトです。

○連載コミック P31

第4章ロータリークラブの発足（後半）

<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>

※縦の頁

○俳壇 P15

ゆっくりと月上がりくるビルの肩

堺フェニックスRC 米田眞理子

○ロータリーにおけるDEI推進について P17

敦賀RC 刀根莊兵衛

○ロータリーアットワーク P22

大阪難波から機会の扉を開こう！

大阪難波RC

コロナ禍の中で献血活動に協力！ P23

和歌山城南RC

御所RCの森で下草刈り P24

御所RC